

十鉄沿線3市町「追加支援は難しい」(20日19:37)

動画を再生

十和田観光電鉄が沿線の自治体に財政支援を求めている問題で、十和田市の小山田久市長は三沢市長や六戸町長と個別に会談し、追加の支援は難しいとの意見で一致した事を明らかにしました。

十和田市の小山田市長は、十和田観光電鉄への財政支援について意見交換をするため三沢市の種市一正市長と六戸町の吉田豊町長を相次いで訪ねて会談しました。会談は非公開でしたが、小山田市長が「追加の支援に税金を投入することは難しい」との認識を示したのに対して、種市市長、吉田町長ともに同様の考えを示したということです。十和田観光電鉄は、沿線の十和田市と三沢市それに六戸町に今後10年間でおよそ5億2000万円の財政支援を求めている、支援が得られなければ鉄道事業から撤退するとしています。小山田市長は市議会の意向をあらためて確認した上で、当初今月中とした期日を来月初めに延期して十和田観光電鉄側に回答する方針です。

